

## ○農作業等の共同化による集落営農組織の推進

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>えさしぐん</small> 枝幸郡 <small>なかとんべつちよう</small> 中頓別町 <small>なかとんべつ</small> 中頓別			
協定面積 2,712ha	田	畑	草地 (100%) 牧草	採草放牧地
交付金額 3,254万円	個人配分			48%
	共同取組活動 (52%)	管理体制に係る経費		3%
		農業生産活動等		16%
		農業生産活動等の体制整備		32%
		その他	1%	
協定参加者	農業者 49人			開始：平成12年度

### 2. 取組に至る経緯

本集落は担い手の高齢化と農家戸数の減少が進み、労働力不足や施設の老朽化などの様々な問題を抱えている。

第2期対策では、労働力の省力化と生産性の向上に向け農作業の共同化による農業支援システムの仕組みづくりとしてコントラクター組織の整備を行ったが、将来的には集落営農組織による作業受託の体制整備が求められている。

また、担い手の高齢化に伴う労働力の軽減対策として、公共牧場への預託の推進を図るとともに、公共牧場の整備と草地の維持管理を継続する必要がある。

### 3. 取組の内容

本集落では集落営農組織の育成や法人化の推進を将来構想と位置付け、第3期対策においては、第2期対策で取り組んできたコントラクター組織の充実を図るため、粗飼料収穫作業以外にも家畜糞尿処理の受託作業などに取り組むとともに、大型機械導入に伴い取付道路や耕作道の整備を進め作業面積の拡大を図る。

また、高齢化による農家戸数の減少に対し、認定農業者の育成及び新規就農者の確保のための体制づくりを推進する。



【集落の話し合い状況】



【コントラクターによる粗飼料収穫作業】

### 【集落の将来像】

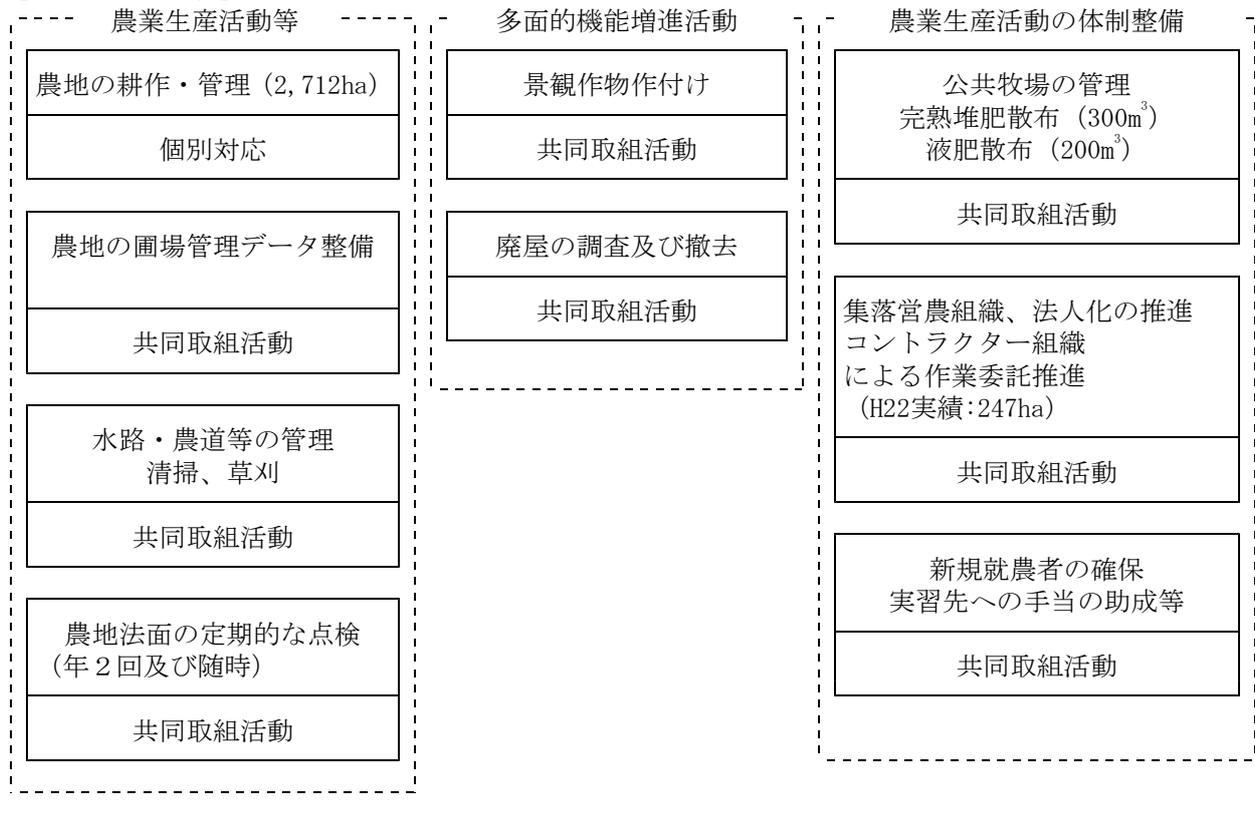
本集落は、担い手農家の高齢化と農家戸数の減少が進み、労働力や担い手不足が懸念される。そのため、労働力不足の改善策として、農作業の共同化営農組織の育成に取り組むとともに、担い手対策として新規就農希望者の受け入れ体制を整備する。  
また、規模拡大による生産性の向上に向け、担い手への農地の利用集積を推進する。



### 【将来像を実現するための活動目標】

1. 機械・農作業の共同化等営農組織の育成（目標350ha）
2. 新規就農者の確保（目標1戸）
3. 担い手への農地集積（目標1戸あたり52ha）

### 【活動内容】



## 4. 今後の課題等

コントラクター組織による共同作業の体制が整備されたが、今後は作業面積の増加と利用率の向上を図るとともに、利用農家の拡大を図る必要がある。

今年から新規就農希望者の研修受入を開始しているが、新規就農者の受入れに対する集落参加者の意識の向上が図られているため、就農に向けた環境整備が急がれる。

### 【第2期対策の主な成果】

- 担い手への農地の流動化対策 (H17: 47ha、H21: 51ha)
- 規模拡大志向農家の体質強化 (H17飼養頭数: 68頭、H21飼養頭数: 72頭)
- 農業支援システムの確立、機械・農作業の共同化の推進  
(コントラクター組織の設立 作業委託面積H21: 130ha、共同機械の導入(糞尿処理機械))
- 認定農業者の育成 (H21実績 39名)